

## こんな大人になりたいな

中学1年 升富 柚葉

私は、何事にも立ち進みあきらめない大人になりたいです。

なぜなら、「ナイチンゲール」という本を読んでいた時に3つの言葉にあこがれたからです。

3位、「仕事には、熱心に打ちこみなさい。さらに、運動や休暇も、それを熱心に楽しみなさい。」

この言葉は、看護学校の指導者に伝えた言葉です。仕事をきちんとやりとげるには、肉体の健康を保つことも大切だということを生徒たちに伝えるように教えました。

2位、「わたしたちが「知っている」と言えるのは、わたしたちが「できる」ことだけです。」

この言葉は、ナイチンゲール看護学校で学ぶ生徒たちに送った手紙の中に書かれていた言葉です。教室で直接教えることはなかったけれど、看護について文章で教えました。

1位、「あきらめなどという言葉はわたしの辞書にはない。」

この言葉は、本格的な看護を学ぶために、家族の反対をおし切ってカイゼルスヴェルト学園に行く前に日記に書いた言葉です。家族を説得できずなやむ日々が続いたけれど、決意は固かったです。

この3つの言葉は、私に失敗してもあきらめないことや不満を言うだけでなく、できることを少しずつ増やしていくなど大切なことばかり教えられました。私は、あきらめそうになった時、自信をなくしそうになった時にこの3つの言葉を思いだしたいと思います。

また、「人は悲しみが 多いほど 人には優しく 出来る」という言葉も好きです。

「優しさ」という文字は、「人」と「憂い」から出きています。「憂い」とは「辛いこと、苦しいこと、悲しいこと、切ないこと、不安なこと」人は「憂い」を経験することで、優しい人になれます。「憂い」を多く経験すれば、もっと優しい人になれます。

だから、今の辛さ、苦しさ、悲しさ、切なさ、不安は決してむだではないと知ったから自分から立ち向かおうと思えたのです。

私は、色々な言葉のようにたくさん目標を立てて、今子どもの時からたくさんのことを経験していこうと思います。中学校でも、色々なことを学んで、部活なども積極的に取り組んで、たくさんの思い出を作っていきたいなと思います。色々な経験を積み重ねて、苦しいことも乗り越えていけるように頑張りたいです。何年後には、何事にも立ち進みあきらめない大人の自分を見たいです。